

▶ 消防団員健康づくりセミナーについて ◀

久米郡消防連絡協議会

1. はじめに

久米郡消防連絡協議会がある、久米南町と美咲町は、岡山県の中央部に位置した中山間地域の中にあり、町の代表的なものとして、久米南町はブドウや柚子、美咲町は、たまごかけご飯が有名です。農業も盛んで、ブドウや黄ニラなどの特産品などもあります。

2. 久米南町消防団、美咲町消防団の概要

久米南町消防団は、昭和29年9月12日に設置され、1団本部、5分団で構成されています。定員262名のところ、実員数249名(平成31年4月1日現在)が在籍し、女性団員は、15名です。装備品は、ポンプ車3台、小型動力ポンプ付積載車10台、多機能消防車1台の計14台を配備しています。

久米南町は、人口減少が続き、それに伴い設置当時には、977名在籍していた消防団員も減少傾向が続いています。団員を確保しようと、平成28年度には、消防団協力事業所表示制度を開始するなど、団員一丸となって入団促進に取り組んでいます。

美咲町消防団は平成17年3月22日に旧旭町消防団、旧中央町消防団、旧柵原町消防団が合併し美咲町消防団となり、現在は7分団、33部で構成されています。団員数は814名(平成31年4月1日現在)、女性団員は39名です。

ポンプ車8台、小型動力ポンプ付積載車22台、小型動力ポンプ付き照明車1台、小型動力ポンプ付き多機能車1台、消防ポンプ付き軽自動車1台の計33台を配備しています。

両団とも主な活動として、毎月の資機材操作訓練及び点検、水利点検などのほか、町内行事への参加も行っています。団員の大多数は、町

外に就職していますが、消防団活動にご協力いただいています。

3. 健康づくりセミナー開催の経緯及び研修の様子

全国的に消防団員の減少とともに高齢化が進んでいますが、美咲町と久米南町も同様の傾向にあり、団員の平均年齢は平成31年4月1日現在で、美咲町40.8歳、久米南町41.9歳となっています。高齢を理由に退団する団員も増加する現状を鑑み、団員の健康管理について学ぼうと、両町の幹部団員(班長以上)を対象として健康づくりセミナーを開催することにしました。

セミナーは、令和元年9月8日(日)に美咲町内で開催し、両町の幹部230名の参加がありました。日本赤十字社岡山県支部から派遣された村上礼子氏を講師にお迎えし、「健康をまもるヒントがある!~考えてみよう自分自身の生活~」と題して講演していただきました。講演では、団員の公務災害の状況、団員の健康・運動状況の実態、健康寿命について説明があったほか、生活習慣病、MIC(軽度認知障害)、運動と食事の管理について実技指導を含めながら行われました。団員からは、「もう一度、生活習慣について見直しをしたい。」、「今日来ていない団員に話す



久米郡消防連絡協議会長挨拶

前に、まずは自分から健康について見直しが必要」、「人を助ける前に自分自身や、部員の安全と健康を守ることが大切」など多くの意見があり、生活習慣について改めて考えてみるいい機会になったようです。講師の村上氏からは「運動不足・食生活を改善し、健康寿命を延ばしましょう。」とアドバイスがあり、受講した団員は最後まで真剣な表情で参加していました。



セミナーの様子

4. 今後の取組

当協議会では、年間の計画で幹部団員（班長以上）を対象とした訓練（研修会）を行っています。今後も引き続き消防基金の事業を活用させていただき、団員の資質向上、公務災害防止、健康づくりなどに取り組むと考えています。

最後になりますが、消防基金関係者の方、講師の方には、大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

